

第3章

生活者の健康と薬・医療とのかかわり

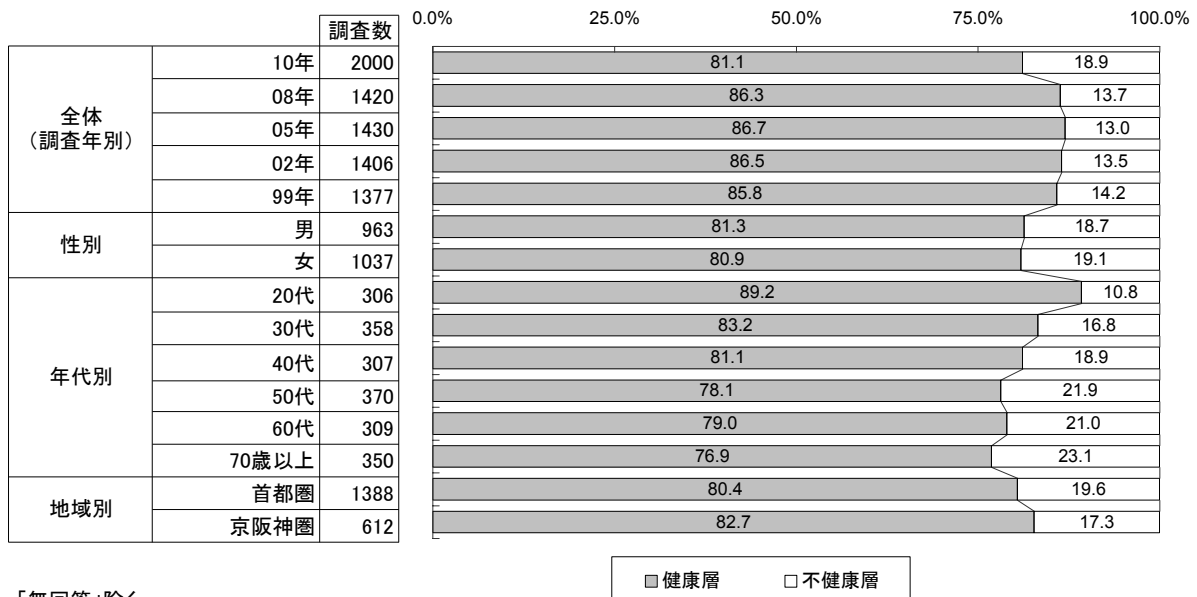
1 健康状態と受診経験

(1) 健康状態 [F5]

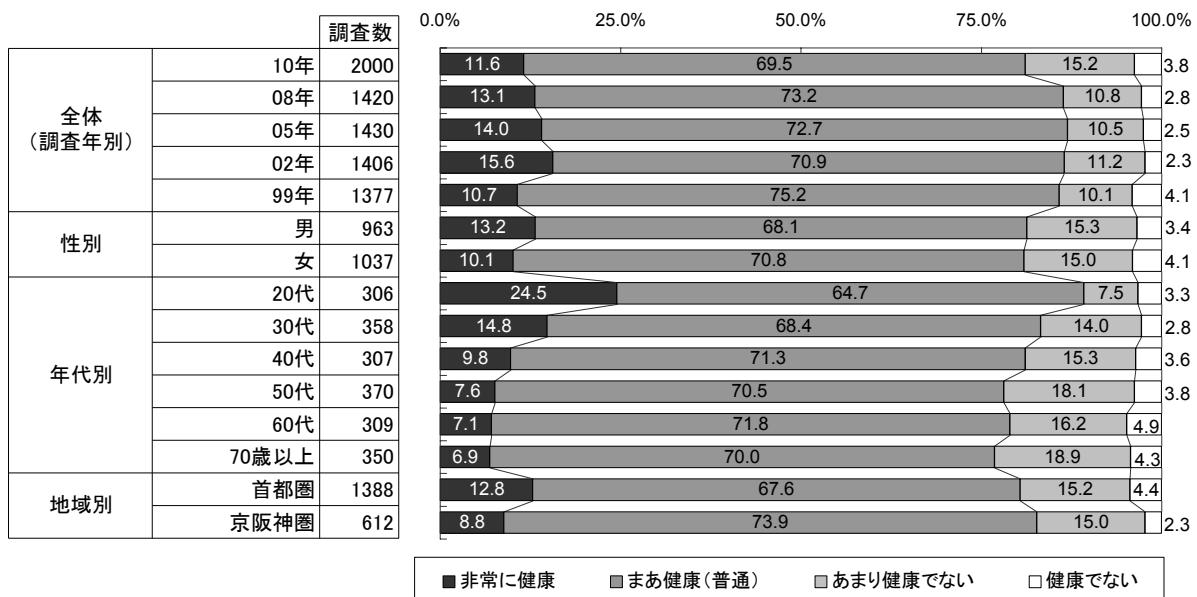
全体の81.1%が自分は「健康」と認識

- 08年調査に比べ5.2ポイント減少して、81.1%の人が自分は「健康」と回答している。過去調査の中で、健康層の割合が最も低い。
- 年代別でみると、年代が上がる程、不健康層の割合が増加する傾向がみられる。（不健康層⇒20代：10.8%→40代：18.9%→70歳以上：23.1%）

図表68. 健康状態-①(全体/属性別)



図表69. 健康状態-②(全体/属性別)

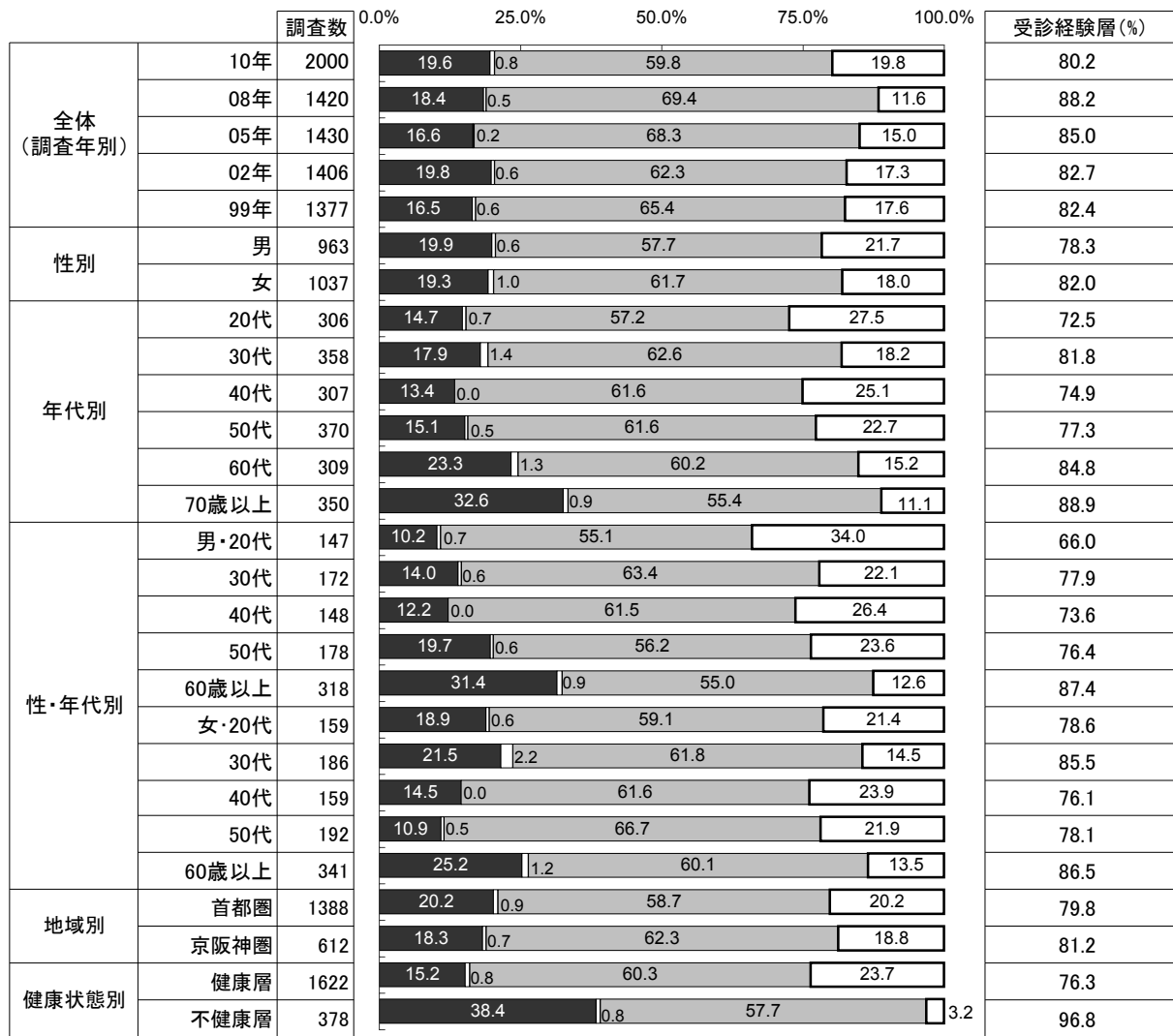


(2) 受診経験 [問1-(1)*(2)]

受診経験率80.2%。08年調査より「通院のみ」経験層減少

- 「入院」および「通院」したことがある受診経験層は80.2%で、08年調査より8.0ポイント減少した。これは主に「通院のみ」したことがある人の割合が減少したことによる結果である。
- 属性別でみると、年代別では「入院・通院とも経験」した割合が年代が上がる程、高くなる傾向がみられる。(20代：14.7%→50代：15.1%→70歳以上：32.6%)
- 健康状態別では、不健康層は受診経験率が96.8%と飛び抜けて高く、「入院・通院とも経験」が、4割近い結果となっている。

図表70. 受診経験（全体/属性別/要因別）



■ 入院・通院とも経験 □ 入院のみ経験 ▨ 通院のみ経験 □ 受診経験なし層

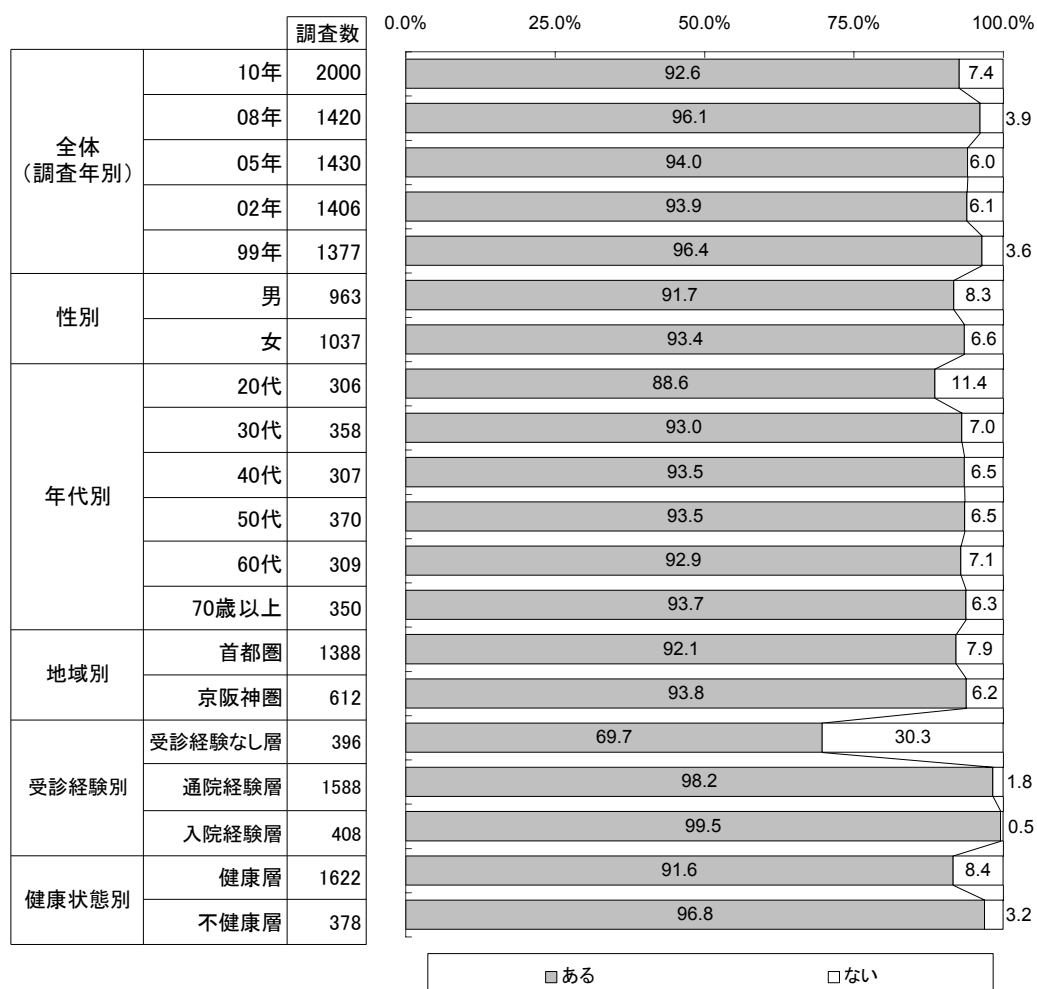
注) 「無回答」除く

(3) 処方薬の服用経験 [問2]

処方薬の服用経験率は92.6%

- 処方薬の服用経験がある人は、92.6%。08年調査より3.5ポイント減少している。
- 受診経験別では、通院経験層、入院経験層、健康状態別では不健康層の服用経験率が高くなっている。

図表71. 処方薬の服用の有無（全体/属性別/要因別）



注1) 「無回答」除く

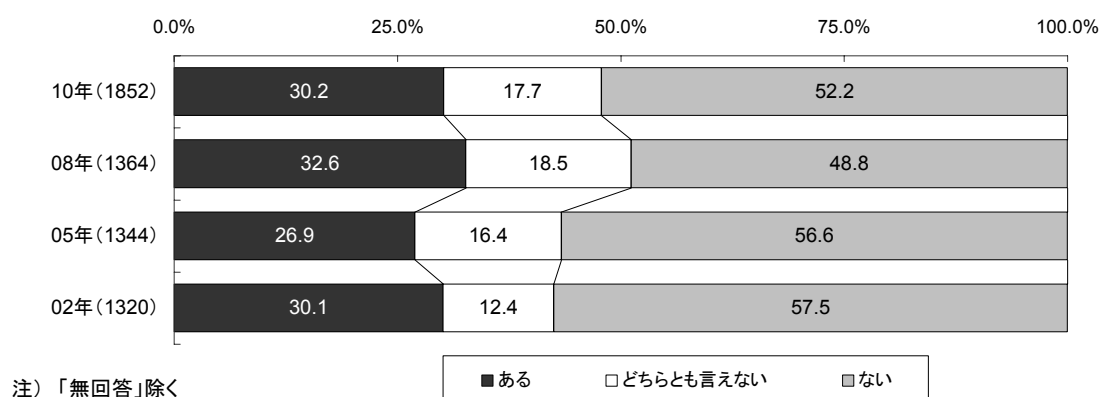
注2) 「受診経験」は、「通院経験」が過去3年間、「入院経験」は過去5年間の経験で聞いていることから、「受診経験なし層」でもそれ以前に経験していれば、「処方薬の服用の経験」はあり得る。

(4) かかりつけ薬局の有無 [問6]

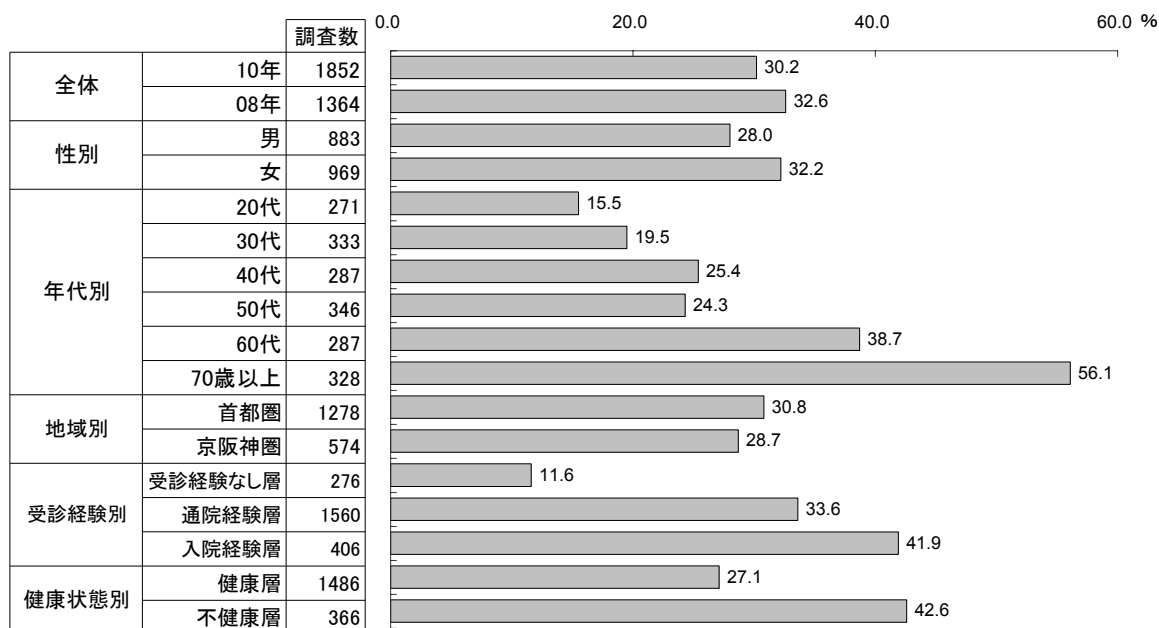
**かかりつけの薬局がある人は30.2%。
70歳以上の半数以上は、かかりつけの薬局がある**

- かかりつけの薬局が「ある」と回答したのは全体の30.2%で、08年調査と比べて2.4ポイント減少した。
- 属性別でみると、性別では女性、年代別では60代以上においてかかりつけ薬局があると回答した人の比率が高くなっている。
- 受診経験別では、入院経験層が最も高く、通院経験層、受診経験なし層の順。健康状態別では、不健康層でかかりつけの薬局がある割合が高い。

図表72. かかりつけ薬局の有無（全体/10年/08年/05年/02年）



図表73. かかりつけ薬局がある人の比率（全体/属性別/要因別）



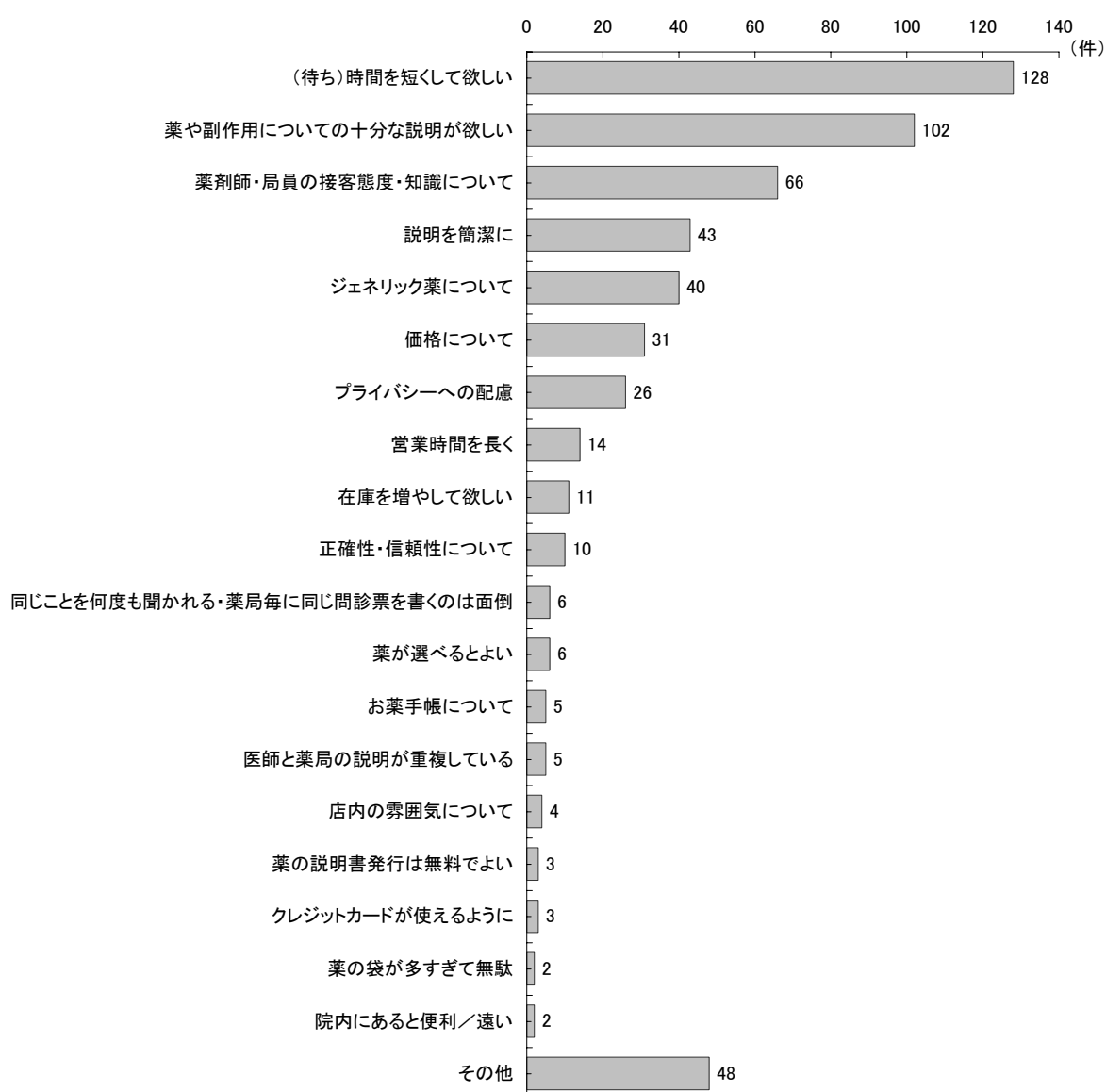
(5) 利用している薬局に対する要望 [問7 自由意見]

要望としては「待ち時間の短縮」「薬や副作用についての十分な説明」

■利用している調剤薬局に対する要望で最も多かったのは、「待ち時間を短くしてほしい」で、128件。次いで、「薬や副作用についての十分な説明が欲しい」102件、「薬剤師・局員の接客態度・知識について」66件、「説明を簡潔に」43件、「ジェネリック薬について」40件と続く。

特に何も無い、という意見を含め、「満足している」という意見も多くみられる結果となった。

図表74. 利用している薬局に対する要望（全体/10年）【自由意見】



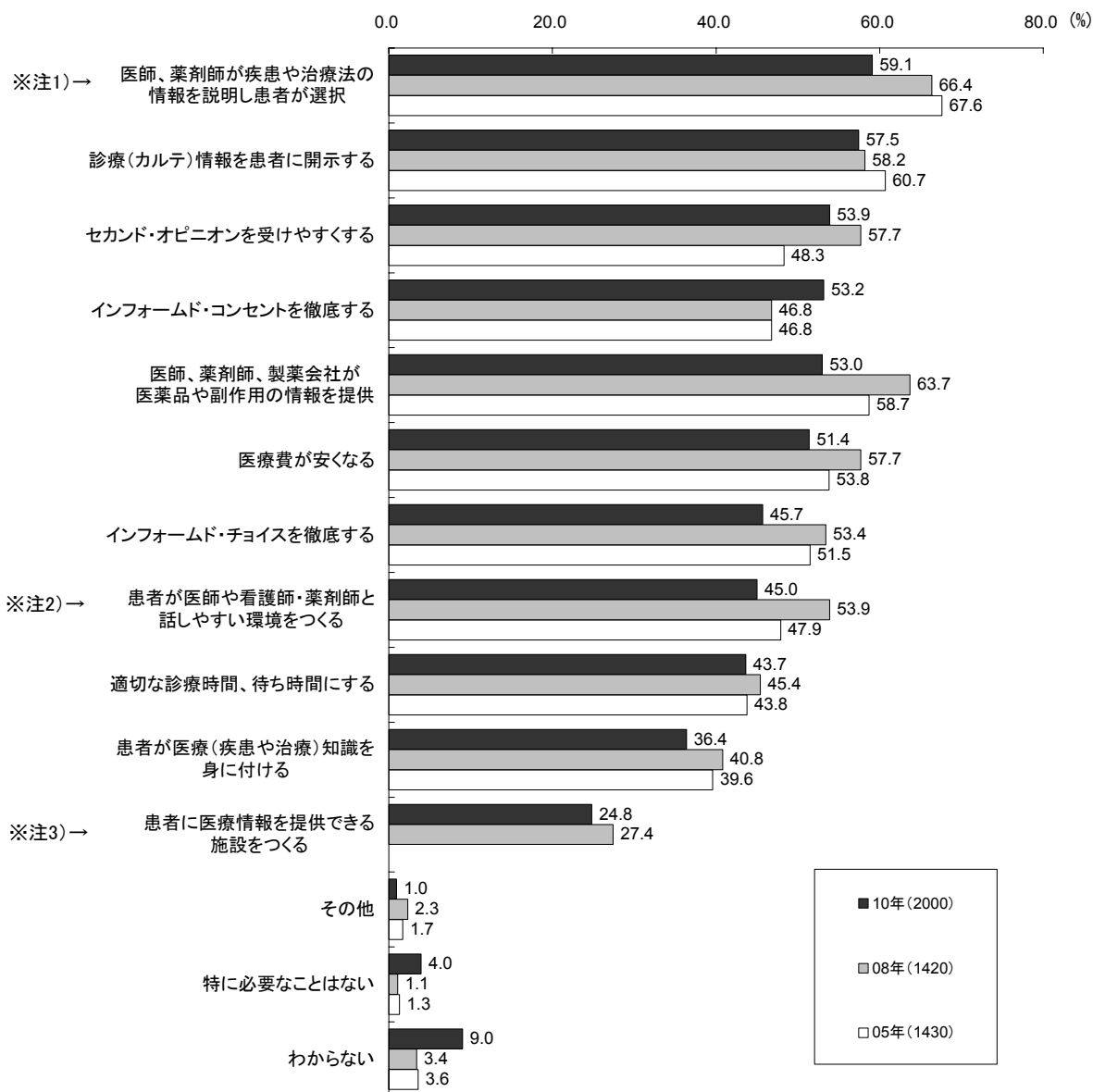
注) 問7の記入率は28.9%、535件であったが(特になし等除く)、記入された文章の中で異なる考え方が併記されている場合は、ひとつの意見としてカウントしていることから、合計のn数とは一致しない。

(2) 「患者中心の医療」に必要なこと [問19]

情報提供・開示、治療法については選択・合意の方向性

- 患者や家族の立場として、「患者中心の医療」に必要なことは、「医師、薬剤師が疾患や治療法の情報を説明し患者が選択」が59.1%で最も多い。次いで「診療（カルテ）情報を患者に開示する」57.5%、「セカンド・オピニオンを受けやすくする」53.9%、「インフォームド・コンセントを徹底する」53.2%、「医師、薬剤師、製薬会社が医薬品や副作用の情報を提供」53.0%と続く。
- 08年調査と比べ「インフォームド・コンセントを徹底する」は6.4ポイント増加した一方、他項目では、殆ど減少する結果となった。
- 上位項目をみると、正確な情報を得て、状況を把握し、治療法について納得のできる方向を目指すという、主体的な医療を求める意識が高い様子がうかがえる。

図表77. 「患者中心の医療」に必要なこと（全体/10年/08年/05年）【複数回答】



注1) 05年調査では「医療側が疾患や治療法の情報を提供する」という選択肢
 注2) 05年調査では「患者と医師や看護師・薬剤師が話しやすいようになる」という選択肢
 注3) 08年調査での新設選択肢

■性別で見ると、男性より女性の方が数値の高い項目が多い。特に「セカンド・オピニオンを受けやすくする」「インフォームド・チョイスを徹底する」「患者が医師や看護師・薬剤師と話しやすい環境をつくる」などは、全体に比べて女性の数値が高めである。

■年代別では、年代が高くなる程、回答率も高くなる項目が多くみられる。中でも「セカンド・オピニオンを受けやすくする」「医師、薬剤師、製薬会社が医薬品や副作用の情報を提供」「患者が医師や看護師・薬剤師と話しやすい環境をつくる」などがあげられた。

図表78. 「患者中心の医療」に必要なこと（全体/属性別/要因別）

（単位：%）

		調査数	医師を説明し患者が選択	診療（カルテ）情報を患者に開示する	セカンド・オピニオンを受けやすくする	インフォームド・コンセントを徹底する	医師、薬剤師、製薬会社が医薬品や副作用の情報を提供	医療費が安くなる	インフォームド・チョイスを徹底する	患者が医師や看護師・薬剤師と話しやすい環境をつくる	適切な診療時間、待ち時間にする	患者が医療（疾患や治療）知識を身に付ける	患者に医療情報を提供できる施設をつくる	その他	特に必要なことはない	わからない
全体	10年	2000	59.1	57.5	53.9	53.2	53.0	51.4	45.7	45.0	43.7	36.4	24.8	1.0	4.0	9.0
	08年	1420	66.4	58.2	57.7	46.8	63.7	57.7	53.4	53.9	45.4	40.8	27.4	2.3	1.1	3.4
性別	男	963	54.0	55.1	46.1	49.4	48.6	47.4	39.7	37.9	38.6	32.7	20.5	0.9	5.0	10.4
	女	1037	63.8	59.6	61.1	56.6	57.1	55.2	51.3	51.6	48.3	39.8	28.8	1.0	3.0	7.7
年代別	20代	306	53.9	52.3	41.8	45.8	43.1	43.5	39.5	37.3	37.3	30.4	17.3	0.3	4.6	13.7
	30代	358	54.5	57.5	49.2	50.6	48.0	52.2	45.8	41.6	42.7	37.4	25.7	1.1	3.1	12.8
	40代	307	61.6	59.9	55.7	55.7	54.1	55.7	47.2	44.6	48.2	38.4	25.4	1.6	4.2	8.5
	50代	370	61.1	56.8	58.1	58.1	57.6	53.5	49.7	47.3	46.5	38.4	25.4	1.4	2.7	6.8
	60代	309	63.1	61.8	57.9	51.8	56.6	55.7	46.9	47.6	42.7	34.6	28.2	0.6	4.2	5.5
	70歳以上	350	60.6	56.6	59.7	56.0	57.7	47.7	44.3	50.9	44.0	38.3	26.3	0.6	5.1	6.9
地域別	首都圏	1388	58.0	58.9	55.7	54.2	52.8	51.5	45.8	46.0	44.0	37.2	26.1	1.0	4.4	9.3
	京阪神圏	612	61.6	54.1	49.8	50.8	53.4	51.1	45.4	42.6	42.8	34.5	21.9	0.8	2.9	8.3
受診経験別	受診経験なし層	396	48.5	48.5	43.9	43.7	42.4	42.9	39.6	35.4	35.4	29.3	19.2	1.0	8.1	16.2
	通院経験層	1588	61.8	59.8	56.4	55.5	55.7	53.8	47.1	47.4	45.7	38.2	26.3	0.9	2.9	7.2
	入院経験層	408	60.5	61.0	57.6	55.6	54.9	52.7	48.0	49.0	51.0	39.2	25.7	0.5	2.7	6.9
健康状態別	健康層	1622	58.8	56.4	52.6	52.2	51.3	50.1	44.8	43.3	41.0	34.8	22.9	0.9	4.4	9.3
	不健康層	378	60.6	61.9	59.5	57.4	60.3	56.9	49.7	52.1	55.0	43.1	33.1	1.3	1.9	7.7

注）「無回答」除く

※10年全体より5%以上高い数値に網掛け